

# 2007年花菖蒲品種登録について

滋賀県大津市 富増 和彦

昨年度の登録が原稿締切に間に合わずできなかったため、今回は一度に大量の登録となつてしまった。そのため、解説等、最小限にとどめている。

## 粟津の泉（あわづのいずみ）

葦の浮船×浅葱水晶  
三英中大輪、中生。以下の「粟津の煌」「粟津の夏」「粟津の汀」「粟津の霞」とは姉妹となる品種である。一昨年登録の「粟津晴嵐」「粟津の光」「粟津浜」とも姉妹となる。どれも薄い地合いに紫脈・砂子、銚が濃い色の、互いに類似した花であるが、本種「粟津の泉」はより垂弁である。

## 粟津の煌（あわづのきらめき）

葦の浮船×浅葱水晶  
三英中大輪、中生。  
白地青紫砂子。花弁縁が波状となり、濃い目の砂子斑が脈に沿って現れる。

## 粟津の夏（あわづのなつ）

葦の浮船×浅葱水晶三英中大輪、中生。  
他の姉妹と同系色・パターンで、薬柱がやや青味を帯びる。年により青味の出方には差がある。

## 粟津の汀（あわづのみぎわ）

葦の浮船×浅葱水晶  
三英中大輪、中生。  
白地に脈に沿って青紫砂子、同色の覆輪。やや垂れ、波状弁。

## 粟津の霞（あわづのかすみ）

葦の浮船×浅葱水晶  
三英中大輪、中生。  
水色地に青みの青紫砂子斑が密で、全体に上記姉妹種よりやや濃い。花弁は丸みがある。

## 唐崎夜雨（からさきやう）

瑠璃の湖×？  
三英中大輪、中生  
親よりも色が濃く、花弁基部中心のみ僅かに白い。色の感じは「三河八橋」よりやや紫が濃く、青味は少ないがたいへんよく似ている。幅広の垂れ弁、伊勢系に見られる縮が少しある。

## 三井晩鐘（みいばんしょう）

瑠璃の湖×？  
三英中大輪、中生  
上記「唐崎夜雨」と兄弟。花色は同じで花弁はあまり垂れずより横張りとなる。

## 帰帆（きはん）

晴嵐の朝×？  
三英中大輪、中早生  
三英ではあるが銚がやや伸び垂れて半六英状となる。白地にメタリックブルーの緋が少し入る。

## 鳩の浮巢（にのうきす）

肥後系「綴錦」実生、  
三英高性藤色細弁クレスト白のF1。  
六英、雄蕊弁化することあり。中輪、晩生藤色かかる空色のやや平咲きにクレスト：薬柱が白い。花形は祖母の「綴錦」のように古い。葉が細くしゃしゃで垂れ気味になり、あまり花菖蒲らしくない。

## 早百合（さゆり）

肥後系「綴錦」実生、三英高性藤色細弁クレスト白のF1。  
三英中輪、晩生  
藤色を含む桃色でやや細弁。薬柱が白くアケセントになる。垂れ葉。

## 草水晶（くさすいししょう）

肥後系「綴錦」実生、三英高性藤色細弁クレスト白のF1。  
三英中大輪、晩生

薬柱が白い変わり種の子であるが、この実生の薬柱は先端が有色である。花弁は鼠藤の地に白の群雲状斑。富士型にゆつたりと垂れる。高性。

## 湖藤の輝（いづつのがやき）

俵藤太×？  
三英中輪、中晩生  
重ねのある縮が少し入る花弁、明るい青紫で銚はやや赤みがある。

## 白羽の湖（しらほのうみ）

えり●時雨×？  
三英中輪、中生  
白、開花初期に僅かに青斑が入ることももある。全体に鳥の羽状によれた感じ。

## すみれの調べ（すみれのしらべ）

紅しじみ×？  
三英中大輪、中生  
透明感ある藤色、銚が立ち、なだらかに垂れる。縮が入り、やや角張った咲きぶりも見せる。晴天で銚が倒れなければ本種の美形を堪能できる。ジャーマンアイリスの往年の銘花「バイオレットハーモニー」を思わせるのでこの名にした。

## 慈母観音（じぼかんのん）

紅しじみ×？  
三英中大輪、中生  
水色地に弁元より中ほどにかけ白筋。弁縁が角ばり波打ち、垂れる。花弁に重なりがないため、三弁の動きが日々感じられる。銚は白に少し覆輪。

**踊紫龍（おどりしりゅう）**

紅しじみ×？

三英（半六英）中大輪、中生

梨地の紫で縮がある。銚子というか内弁はやや赤みの紫で、先は尖るが幅があり、垂れ下がるので三英と六英の中間に見える。

**膳所の夏風（ぜぜのなつかぜ）**

漣の光×浅葱水晶

三英中大輪、中晩生

白に銚子が青紫またら。「漣の光」を受け継いで大きくふんわりと開く。

**比叡の峰（ひえいのみね）**

比叡の朝×？

三英中大輪、中生

ほとんど白にごく僅かに紅が差す。銚子が幅広く、全体に伊勢系に特有の花姿をなす。

**比叡鏡（ひえいかがみ）**

比叡の朝×？ 三英中大輪、中晩生

極薄い水色地に弁縁青紫の砂子覆輪ほかし。厚みある蜘蛛手で青紫斑。銚も同色。花弁は幅広く重なり、やや垂れて波打つ。

**比叡桜（ひえいさくら）**

比叡の朝×？

三英中大輪、中生

青味のある桜桃色で、ひだ・縮が多い。

**青鷺舞（あおさぎまい）**

伊勢系実生（水色・銚紫の垂れ弁）の子

三英中大輪、中晩生

極薄い水色地に青紫の砂子と脈が少し入る。厚みある大きな蜘蛛手で青紫斑。銚も同色で大きい。花弁は幅広く、やや垂れて波打つ。

**すみれ丸（すみれまる）**

伊勢系実生（青紫）の子

三英中大輪、中晩生 青味の藤紫セルフで時に白斑、照りがある。やや垂れる波打ち弁、銚は丸みがあるがやや伸びる。

**青水巴（あおすいは）**

水巴の実生

三英中輪、中晩生

水青地に白の脈、銚は丸みがあり、白地に青の覆輪。垂れて波打つ。重ねはなく、大きな花ではないが、銚の青色が印象的。

**浅葱小町（あさぎこまち）**

浅葱水晶の実生

三英中輪、中生

浅葱色、あつさりした咲きぶり。芽数が多く群生しやすい。

**浅葱の滴（あさぎのしずく）**

浅葱水晶の実生

三英中大輪、中生

浅葱色やや濃く、ひだ・縮が多く、角張った咲きぶり。なだらかに垂れる。

**浅葱の頂（あさぎのいただき）**

浅葱水晶の実生

三英中大輪、中生

浅葱色、幅広弁がゆったり垂れる。銚は細く尖り、白地に先が紅に染まる。

**漣晴嵐（さざなみせいらん）**

浅葱水晶の実生

三英中輪、中早生

白に僅かに青かすり。縮が出て角張る。銚は丸みあり、白地に青い覆輪。

**瓦ヶ浜（かわらがはま）**

浅葱水晶の実生

三英中輪、中早生

薄い鼠藤、銚は小豆紫。大きくはないが渋い色彩が面白い。群生しやすい。

**垂藍（すいらん）**

藤陽炎の実生

三英中大輪、中早生

紫味の少ない澄んだ青色で、地藏型にだらしと垂れ下がる。親からは想像できない子。

**藤大星（ふじおおほし）**

伊勢系の「君が代」（登録にないもの。青紫に白筋）の実生

三英大輪、中生

幅広の藤色で縮がたいへん多く見事の一言に尽きる。銚は白覆輪。大きな芽はできると子芽が少なく、なかなか増えない。同じ色合い、花形の実生は伊勢系の実生親からは多く出るが、どれもすべて増殖に難がある。

**虹の刻（にじのとき）**

伊勢系の「君が代」（登録にないもの。青紫に白筋）の実生

三英中大輪、中生

弁元は青味の薄藤色、弁端にかけて赤みが増す。

**瑠璃えり波（るりえりなみ）**

伊勢系の「君が代」（登録にないもの。青紫に白筋）のF1の実生

三英中大輪、中晩生 青紫地に白荒筋、幅

広弁にひだが入る。縮も少し入る。